

無駄削減に対する職員研修の開催状況について

- 本年4月以降、既存の研修に無駄削減に対する職員研修を組み込み、講義を実施してきたところ。開催状況は以下のとおり。
- ◆ 平成21年度新規採用者研修
 - ・ 平成21年4月7日（火）～10日（金）
 - ・ 研修生92名
 - ・ 会計事務に関する講義の中で、無駄削減に対する取組について説明
- ◆ 平成21年度会計実務研修
 - ・ 平成21年7月29日（水）～31日（金）
 - ・ 研修生45名
 - ・ 自律的な無駄削減のための取組について講義

- * 会計実務研修におけるレポートでは、研修生45名のうち25名の研修生が無駄削減の観点から感想を寄せており、主なものは以下のとおり。
- ・ 無駄遣い撲滅の取組における行政コストの節減や効率化についても、職員一人一人の意識改革が必要不可欠であり、そのためには、会計事務担当者として率先して意識改革を図る努力をしなければならない。
 - ・ 的確な業務処理ばかりでなく、アンテナを高くしムダはないのか、効率的なのか意識して業務にあたることが重要な課題。
 - ・ 無駄遣い撲滅の観点から、無駄な経費の支出や出張が行われないよう、1件1件丁寧に審査するよう、常に意識し業務を遂行。
 - ・ 無駄撲滅のためには、前例主義等ではなく、現在の世の中のニーズに合っているのか等、常に国民目線を意識することが必要。
 - ・ 契約を締結する際にはなぜ必要なのか、契約方法はこれでいいのか、無駄はないか、支出科目は適正であるか等、過去の事例にとらわれることなく、新たな目線で物事を見ていく必要。